

ていばーく所蔵資料紹介

東宮御婚儀祝典記念切手シート（不発行切手シート）



東宮御婚儀祝典記念切手は、大正12年11月に行われる昭和天皇（当時皇太子）の御婚儀を祝して国内用の1銭5厘と3銭、外国用の8銭と20銭の4種類が発行される予定でした。

ところが、9月に関東大震災が発生し、大蔵省の印刷工場や逓信省の切手倉庫が焼失して完成していた切手も原版もすべて灰となってしまう、御婚儀の式典も翌年に延期されることとなったため、この切手の発行は中止されました。

しかし、震災前に南洋諸島に送られていた切手は焼失をまぬがれ東京に返送されたので、逓信省はこれを記念帳として桐箱に納め皇室に献上し、残部を後世に伝うべき資料として関係者に配布しました。

切手の図案は逓信博物館において作成したもので、意匠は樋畑雪湖が選定し吉田豊が描きました。1銭5厘と3銭が霞ヶ浦からみた筑波山、8銭と20銭が東宮仮御所霞ヶ浦離宮の前景となっています。

当館には4種類とも完全シートで保存されています。写真は20銭シートです。

（表紙解説）

東海道五拾三次之内 戸塚 元町別道

戸塚宿の入口、元吉田町あたりの風景と思われる。^{からじりうま}軽尻馬から「こめや」という茶屋の腰掛に下りる旅人がユーモラスに描かれている。茶屋の軒下には大山講中など講札が並んでいる。吉田橋のたもとに「左りかまくら道」と書かれた道標があるが、ここから鎌倉へ通じる別道があった。